

第1学年 国語科学習指導案

1組 男子15名 女子12名 計27名
指導者 榎 綾子
2組 男子16名 女子12名 計28名
指導者 太田光子

1 単元名 チャレンジ!!むかしばなしをたのしもう

2 教材名

中核教材 「たぬきの糸車」(光村図書 一年下)
補助教材 「つるのよめさま」 他 日本の昔話

3 研究との関わり

本単元を通して育てたい力

〈追究力〉

- 自分が選んだ昔話を紹介するために、話の展開に着目し、紹介文の観点に沿って昔話を読む力を育てる。

〈感想力〉

- 昔話の展開に着目しながら、自分なりの感想をもったり、紹介文を聞き合ったりして、交流し合う力を育てる。

〈説明力〉

- 紹介文の観点に沿って説明する力を育てる。

4 言語活動

昔話を読み、紹介文を書き、紹介する会を開くこと。

5 単元の指導目標

- 進んで昔話を読み、紹介文を書こうとする。 (関心・意欲・態度)
- ◎ 昔話の展開に着目しながら、自分なりの感想をもって読むことができる。 (読むこと ア)
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。 (言語事項 エ(ア))

6 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	昔話を楽しんで読もうとしている。	昔話の展開に着目しながら、自分なりの感想をもって読んでいる。	文の中における主語と述語との関係をつかんでいる。

7 指導に当たって

(1) 児童について

児童は、これまでに、「おはなしをげきにへんしん!!」という単元で、中核教材を「おおきなかぶ」、補助教材を「きたかぜとたいよう」として、動作化を通して想像を広げながら読み、劇をするという言語活動に取り組んだ。その結果、大事な言葉や挿絵に着目することや場面間の読み、比べ読みなどから、場面や人物の様子を想像する力が徐々に付いてきている。

また、「このほんおすすめ、ここがすき」という単元では、中核教材を「ずうっと、ずっと、大すきだよ」、補助教材を外国の物語として、好きな本を選んで紹介文を書く言語活動を取り入れた学習を行った。その結果、物語の大体を読み、出来事や好きなところを見つけることができるようになってきている。

これらの学習を通して、児童は、個人差はあるが、音読の力や大事な言葉や挿絵に着目しながら想像する力が徐々に付いてきており、易しい読み物に興味をもって読むようになってきている。しかし、想像したことを自分なりの言葉で表す力や好きなところを自分の言葉で表す力などについては十分ではない。

このことから、話の展開に着目しながら観点に沿って昔話を読み、自分なりの感想をもち、「好きなところ」や「登場人物のキャラクター」「感じたこと」を自分の言葉で説明する力を付けていきたいと考える。

(2) 単元について

第1学年及び第2学年の読むことの目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元では、「読むこと」の指導事項ア「易しい読み物に興味をもち、読むこと」を主目標とする。

これらの学習は、第3学年及び第4学年の読むことの目標「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」のための指導事項ア「いろいろな読み物に興味をもち、読むこと。」につながるものである。

中核教材「たぬきの糸車」は、ユーモラスな楽しさにあふれ、読み手を引きつける出来事でつながっており、筋の展開のおもしろさで作品を読んでいく1年生にふさわしい作品である。

補助教材は、日本の代表的な昔話であり、「たぬきの糸車」で興味をもち、学習したことを生かし、話の展開や観点に着目しながら、読み浸らせたい内容である。同時に、読書の楽しみを共有することの喜びも味わわせたい。

本単元では「チャレンジ!!むかしばなしをたのしもう」を目標に掲げ、自分が選んだ昔話を紹介するという目的をもたせ、並行読書に取り組ませていく。観点に沿って紹介するために、文の中における主語と述語の関係に注意しながら、昔話を読む際の4観点について文章や挿絵から取り出したり感想を交流したりする活動を取り入れることにより、友達の考えを知り、自分の考えを自分の言葉で説明していくようになると思われる。

(3) 指導について

本単元では、「チャレンジ!!むかしばなしをたのしもう」を目標にして、並行読書をしてきた昔話の中の4つの昔話から、一番好きな昔話を選び、観点に沿って一人一人が紹介文に書き、紹介する会を開くことを言語活動として位置付けている。自分が紹介したい昔話について、ペア学習により観点に沿って読み取り、紹介したいことをシートに書きまとめるというスモールステップで進め、どの児童にも取り組めるように配慮する。

この単元で付けたい3つの力は、次の通りである。

①「見通す段階」

〈迫究力〉 児童に言語活動「昔話を紹介する会を開く」ことを確認し、単元の見通しをもつことができるようにする。
--

見通す段階では、クイズをすることにより、昔話をあまり読んだことのない児童にも興味・関心をもたせる。次に、モデル紹介文を提示し、4つの観点「感じたこと」「中心人物のキャラクター」「話の最後」「好きなところ」を確認する。

言語活動が、「昔話を読み、紹介文を書き、学級の友達やお家の方に昔話を紹介する会を開くこと」であることを明らかにする。そのために、「昔話の並行読書をする事」「中核教材『たぬきの糸車』で、4観点に着目して紹介文を書く学習をすること」「中核教材の学習を生かして、昔話の中から1冊を選んで紹介文を書き、紹介すること」の学習内容を確認し、単元の学習計画を立てる。最後に「たぬきの糸車」の範読を聞き、「好きなところ」を書かせる。

②「深める段階」

- | | |
|-------|---|
| 〈追究力〉 | 「たぬきの糸車」を紹介するための4観点それぞれの読み取り方が分かり、読むことができるようにする。 |
| 〈感想力〉 | 中核教材を紹介するための4観点について自分なりの感想をもちながら読み、友達と感想を交流しながら、さらに自分の感想をもつことができるようにする。 |
| 〈説明力〉 | 中核教材を紹介するための4観点について、紹介の仕方が分かり、説明することができるようにする。 |

深める段階では、話の展開の理解を図るため、毎時間全文音読をさせる。中核教材「たぬきの糸車」の挿絵に番号をつけ、それと関連した主語と述語が含まれている叙述にサイドラインを引き、それをつなぎ合わせてあらすじをつかむ。話の展開に着目して読むことにより、「①話の最後」をまとめ、シートに書く。「②キャラクター像」については、たぬきの行動、様子、挿絵に着目させることにより想像させ、箇条書きにさせる。「③好きなところ」については、叙述、挿絵に着目させ、好きなところを選び想像させ、シートに書く。「④感じたこと」については、自分の思いを書かせる。これまでに書いた3つの観点を読み返し、感想語彙集から「感じた言葉」を選ばせるようにする。「②キャラクター像」、「③好きなところ」においても、それぞれの感想語彙集を活用させる。「キャラクター像」「好きなこと」「感じたこと」の3観点において、紹介したいこととそのわけをペアで交流させる。そして、自分の言葉で「わけ」を説明しているペアを全体で紹介し、説明力の向上を図る。最後に、全体で紹介文を発表し合い、感想を書く。

③「まとめる段階」

- | | |
|-------|---|
| 〈追究力〉 | 紹介したい昔話を紹介するための4観点それぞれの読み取り方が分かり、読むことができるようにする。 |
| 〈感想力〉 | 補助教材を紹介するための4観点について自分なりの感想をもちながら読み、友達と感想を交流しながら、さらに自分の感想をもつことができるようにする。 |
| 〈説明力〉 | 補助教材を紹介するための4観点について、紹介の仕方が分かり、説明することができるようにする。 |

まとめる段階では、深める段階での学習を生かし、ペアで活動させる。並行読書をしてきた中の4つの昔話から、自分が紹介したい昔話を選ぶ。次に、あらすじをつかんだ後、話の最後を紹介文に書く。「中心人物のキャラクター像」「好きなところ」「感じたこと」の観点に沿って読み、紹介文に書き、それぞれ「わけ」も加えてペアで交流し合う。最後に、紹介文を清書する。

④「広げる段階」

- | | |
|-------|--|
| 〈感想力〉 | 紹介された昔話を読み、「感じたこと」の観点に沿った感想をもつことができるようにする。 |
| 〈説明力〉 | 紹介したい昔話の4観点に沿って説明することができるようにする。 |

広げる段階では、ペアで紹介文を発表し合い、互いに紹介された昔話を読み合い、「感じたこと」を交流し合う。そして、お家の方を対象に「昔話を紹介する会」を開く。

8 単元の学習計画及び評価計画（読むこと 15 時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	具体的評価規準 (評価方法)
見通す	1	<p>「チャレンジ!!昔話を楽しもう」の学習計画を立てよう。</p> <p>1 紹介文・昔話を紹介する会のイメージを想起する。 ○ モデル紹介文を読み, 紹介文に書く4つの観点をつかむこと。 ○ 昔話を紹介する会の内容を確認すること。</p> <p>2 学習計画を立てる。 ○ 15時間の学習内容をとらえて, 見通しをもつこと。</p>	<p>○ 司書教諭による「昔話クイズ」を通して, 昔話への興味・関心をもつことができるようにする。</p> <p>○ 紹介文に書く4つの観点, 「感じたこと」「中心人物のキャラクター」「話の最後」「好きなところ」を確認する。</p> <p>○ 友達・お家の方に, 昔話を紹介するという相手意識をもたせ, 意欲を高める。</p> <p>○ 昔話の並行読書を始める。</p>	<p>関—昔話クイズに進んでチャレンジし, 昔話を紹介をする会への意欲と見通しをもっている。 (発言・観察)</p>
深める	2	<p>「たぬきの糸車」を読み, 「好きなところ」を書いてみよう。</p> <p>1 「たぬきの糸車」を読む。 ○ 「たぬきの糸車」を聞きながら, 「好きなところ」を見つけること。</p> <p>2 「好きなところ」の観点を書く。 ○ 「好きなところ」を72字以内に書くこと。</p>	<p>【一斉】</p> <p>○ 前単元「この本おすすめ, ここが好き」の学習を生かして, 好きなところに付箋紙(ピンク)を貼り, 「好きなところ」を書かせるようにする。</p> <p>○ 付箋紙(ピンク)をもたせ, 以後, 叙述, 挿絵から, 「好きなところ」を見つけながら読んでいくことができるようにする。</p>	<p>関—昔話を進んで読もうとしている。 (観察・ノート)</p> <p>読—「好きなところ」を感想をもちながら読んでいる。 (発言・シート・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。 (発言・シート)</p>
・	3 4	<p>「たぬきの糸車」の粗筋をつかみ, 「話の最後」を書こう。</p> <p>1 全文音読をする。 ○ 全文を音読して, 粗筋をつかむこと。</p> <p>2 粗筋をつかむ。 ○ 挿絵と関連した叙述にサイドラインを引くこと。</p> <p>3 「話の最後」を紹介文に書く。 ○ 話の最後に関連した叙述にサイドラインを引くこと。 ○ 「話の最後」を紹介文に60字以内で書くこと。</p>	<p>【一斉】</p> <p>○ 「話の最後」を紹介文に書くために, 粗筋をつかみ, 結末部分の挿絵に着目させる。そして, 「誰が」「どうした」の形式で書くことができるようにする。</p> <p>○ あらすじをつかむためのサイドラインは黒, その中でも, 話の最後に関連した叙述には, 黄色でサイドラインを引かせるようにする。</p>	<p>関—昔話を進んで読もうとしている。 (観察・ノート)</p> <p>読—粗筋をつかみながら「話の最後」を読んでいる。 (発言・シート・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。 (発言・シート)</p>
	5	<p>「たぬきの糸車」を読み, 「たぬきのキャラクター」を書き, わけを</p>	<p>【一斉】</p> <p>○ 「たぬきのキャラクター」を紹介文に書くために, 付箋紙(水色)を貼</p>	<p>関—昔話を進んで読もうとしている。 (観察・ノート)</p>

深める		<p>話そう。</p> <p>1 全文音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全文を音読して、たぬきのキャラクター像を想像すること。 <p>2 「たぬきのキャラクター」を紹介文に書き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たぬきのキャラクター像」が想像できるところに、サイドラインを引き、付箋紙を貼り、「キャラクター像」を書くこと。 ○ 「キャラクター像」「わけ」を交流し合うこと。 	<p>らせ、たぬきの行動や様子、会話文の叙述にサイドライン(青)を引いたり、挿絵を線(青)で囲んだりして、「キャラクター像」を書き込ませていく。そして、感想語彙集を活用させて、「キャラクター像」を想像することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「キャラクター像」「わけ」を説明する話型を提示する。 ○ ペアで「キャラクター像」「わけ」を交流させ、自分の言葉で「わけ」を説明している児童を紹介し、そのよさをみんなで共有することができるようにする。 	<p>読—「キャラクター像」を感想をもちながら読んでいる。</p> <p>(発言・付箋紙・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。</p> <p>(発言・シート)</p>
	6	<p>「たぬきの糸車」を読み、「好きなところ」を書き、わけを話そう。</p> <p>1 全文音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全文を音読して、「好きなところ」を決めること。 <p>2 「好きなところ」を紹介文に書き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○好きなところを決定し、「好きなところ」を72字以内で書くこと。 ○ 「好きなところ」「わけ」を交流し合うこと。 	<p>【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○好きなところに、付箋紙(ピンク)を貼ってきた中から、「好きなところ」を決定させ、叙述にはサイドライン(赤)を引かせたり、挿絵を線(赤)で囲ませたりする。 ○ 「好きなところ」を「だれが」「どうした」の事実とそこから想像したことを、感想語彙集を活用して、「～そう」「『 』」と書いていそう」という形で、紹介文に書くことができるようにする。 ○ 「好きなところ」「わけ」を説明する話型を提示する。 ○ ペアで「好きなところ」「わけ」を交流させ、自分の言葉で「わけ」を説明しているペアを全体に紹介し、そのよさをみんなで共有することができるようにする。 	<p>関—昔話を進んで読もう読もうとしている。</p> <p>(観察・ノート)</p> <p>読—「好きなところ」を感想をもちながら読んでいる。</p> <p>(発言・シート・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。</p> <p>(発言・シート)</p>

	<p>7</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「たぬきの糸車」を読み、「感じたこと」を書き、わけを話そう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 全文音読をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全文を音読して、自分の感想をもつこと。 2 「感じたこと」を紹介文に書き、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感じたこと」を、感想語彙集から「感じた言葉」を選び、36字以内で書くこと。 ○ 「感じたこと」「わけ」を交流し合うこと。 3 紹介文を清書する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの観点に沿って、紹介文を清書すること。 	<p>【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感じたこと」を、作品を読み終えて感じた自分の思い、これまでに書いた自分の紹介文の3つの観点を読み返し、感想語彙集を活用して、紹介文に書くことができるようにする。 ○ 「感じたこと」「わけ」をペアで交流させる。「わけ」については、作品を読み終えて感じた自分の思いを自分の言葉で説明させるようにする。自分の言葉で、説明しているペアを全体に紹介する。 	<p>関—昔話を進んで読もう読もうとしている。 (観察・ノート)</p> <p>読—「感じたこと」を感想をもちながら読んでいる。 (発言・シート・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。 (発言・シート)</p>
	<p>8</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「たぬきの糸車」の紹介をしよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 「たぬきの糸車」の紹介文を、全体で発表し、わけを説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介文の4観点を発表し、「キャラクター」と「好きなところ」のわけを説明すること。 2 紹介し合ったことの感想を書き、交流する。 	<p>【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに学んできた話型に気を付けて、わけを説明することができるようにする。 ○ 友達の紹介した内容と自分の読みとの違いに気付きながら、感想を書かせるようにする。 	<p>関—昔話を紹介する会に進んで取り組もうとしている。 (観察・ノート)</p> <p>読—「キャラクター」「好きなところ」を感想をもちながら読んでいる (発言・ノート)</p>
<p>ま と め る</p>	<p>9</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">紹介したい昔話を決め、昔話を読もう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 紹介したい昔話を選ぶ。 2 選んだ昔話を読む。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 昔話を読み、「中心人物のキャラクター」「好きなところ」を見つけること。 3 「中心人物のキャラクター」を想像する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 中心人物のキャラクター像が想像できるところに、サイドラインを引き、付箋紙を貼り、キャラクター像を書くこと。 4 「好きなところ」を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きなところにサイドライン 	<p>【ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 並行読書をしてきた中の4つの昔話から、自分が紹介したい昔話を決め、意欲を高める。 ○ 「中心人物のキャラクター」を紹介文に書くために、付箋紙(水色)を貼らせる。たぬきの行動や様子、会話文の叙述にサイドライン(青)を引いたり、挿絵を線(青)で囲んだりする。感想語彙集を活用させて、「キャラクター像」を想像することができるようにする。 ○ 以後、付箋紙をもたせ、キャラクター像を書かせていくようにする。 ○ 好きなところに、付箋紙(ピンク)を貼らせる。叙述にはサイドライン 	<p>関—紹介したい昔話を選んで読んでいる。 (観察・ノート)</p> <p>読—「キャラクター」「好きなところ」を感想をもちながら読んでいる。 (シート・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。 (シート・発言)</p>

<p>ま と め る</p>	<p>を引き、付箋紙を貼り、「好きなところ」を72字以内で書くこと。</p>	<p>(赤)を引かせ、挿絵には線(赤)で囲ませる。「好きなところ」を「だれが」「どうした」の事実とそこから想像したことを、感想語彙集を活用して、「～そう」「『 』」と書いて「～そう」という形で、紹介文に書くことができるようにする。</p> <p>○ 以後、付箋紙(ピンク)をもたせ、好きなところを見つけて貼らせていくようにする。</p>	
<p>10 ・ 11</p>	<p>昔話を読み、粗筋をつかんで、「話の最後」を書こう。</p> <p>1 粗筋をつかむ。</p> <p>○ 挿絵にナンバーをつけること。</p> <p>○ 全文音読をしながら、挿絵と関連した叙述にサイドラインを引くこと。</p> <p>2 「話の最後」を紹介文に書く。</p> <p>○ 話の最後に関連した叙述にサイドラインを引くこと。</p> <p>○ 「話の最後」を紹介文を60字以内で書くこと。</p>	<p>【ペア】</p> <p>○ 補助教材は長編であり、音読の力に個人差もあるが、この時間は、声に出して読むことで、黙読では読みが浅かった部分を補いたい。</p> <p>○ 「話の最後」を紹介文に書くために、粗筋をつかみ、結末部分の挿絵に着目させながら、「誰が」「どうした」の形式で書くことができるようにする。</p> <p>○ 粗筋をつかむためのサイドラインは黒、その中でも、話の最後に関連した叙述には、黄色でサイドラインを引かせるようにする。</p>	<p>関—昔話を進んで読もうとしている。</p> <p>(観察・ノート)</p> <p>読—粗筋をつかみながら「話の最後」を読んでいる。</p> <p>(シート・発言・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。</p> <p>(シート・発言)</p>
<p>12</p> <p>〔 1 組 本 時 〕</p>	<p>昔話を読み、「キャラクター」「好きなところ」を書き、わけを話そう。</p> <p>1 「中心人物のキャラクター」を選び、交流する。</p> <p>○ 「キャラクター像」を選ぶこと。</p> <p>○ 「キャラクター像」「わけ」を交流し合うこと。</p> <p>2 「好きなところ」を紹介文に書き、交流する。</p> <p>○ 好きなところを決定し、「好きなところ」を72字以内で書くこと。</p> <p>○ 「好きなところ」「わけ」を交流し合うこと。</p>	<p>【ペア】</p> <p>○ 活動時間の目やすを示し、見通しをもって活動できるようにする。</p> <p>○ キャラクター像を書き込んでいた付箋紙の中から、自分が一番紹介したい「キャラクター像」を選ばせる。行動や様子、会話文の叙述や挿絵から、キャラクター像を想像したことを「中心人物のキャラクター」「わけ」を話型に沿ってペアで交流させる。</p> <p>○ 好きなところに貼っていた付箋紙の中から、自分が一番紹介したい「好きなところ」を決定させる。「好きなところ」を、「だれが」「どうした」の事実とそこから想像したことを、感想語彙集を活用して、「～そう」「『 』」と書いて「～そう」という形で、紹介文に書かせる。話型に沿って、「好きなところ」「わけ」をペ</p>	<p>関—昔話を進んで読もうとしている。</p> <p>(観察・ノート)</p> <p>読—「中心人物のキャラクター」「好きなところ」を感想をもちながら読んでいる。</p> <p>(付箋紙・シート・発言・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。</p> <p>(シート・発言)</p>

			アで交流させる。	
	13	<p>昔話を読み、「感じたこと」を書き、わけを話そう。</p> <p>1 「感じたこと」を紹介文に書き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感じたこと」を、感想語彙集から「感じた言葉」を選び、36字以内で書くこと。 ○ 「感じたこと」「わけ」を交流し合うこと。 <p>2 紹介文を清書する。</p>	<p>【ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動時間の目安を示し、見通しをもって活動することができるようにする。 ○ 「感じたこと」を紹介文に書くために、これまでに書いた自分の紹介文の3つの観点を読み返し、昔話全体を通した「感じたこと」を感想語彙集を活用して、紹介文に書くことができるようにする。 ○ 話型に沿って、「感じたこと」「わけ」をペアで交流させる。 	<p>関—昔話を進んで読もう読もうとしている。(観察・ノート)</p> <p>読—「感じたこと」を感想をもちながら読んでいる。(シート・発言・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。(シート・発言)</p>
広 げ る	14	<p>紹介された昔話を読んで、「感じたこと」を話そう。</p> <p>1 ペアで紹介文を発表し、感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで紹介文を発表し、「キャラクター」や「好きなどころ」のわけを説明すること。 <p>2 紹介された昔話を読む。</p> <p>3 紹介された昔話の「感じたこと」を書き、紹介した人は、わけも伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感じたこと」を書くこと。 ○ 「感じたこと」を互いに発表し合うこと。 	<p>【ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動時間の目安を示し、見通しをもって活動できるようにする。 ○ 紹介する側は、「中心人物のキャラクター」「話の最後」「好きなどころ」の3観点を発表し、聞く側は、「中心人物のキャラクター」「好きなどころ」の中から、わけを質問させるようにする。 ○ 「感じたこと」の観点を意識しながら、昔話を読むよう促す。 ○ 「感じたこと」を、紹介された人から発表し、紹介した人は、わけも加えて発表させる。 	<p>関—昔話を紹介する会に進んで取り組もうとしている。(観察・ノート)</p> <p>読—紹介された昔話の「感じたこと」を感想をもちながら読んでいる。(シート・発言・ノート)</p> <p>言—主語と述語の関係を意識して読んでいる。(シート・発言)</p>
	15	<p>チャレンジ!!お家の方に、昔話を紹介しよう。</p> <p>1 お家の方に、昔話を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループ毎に、一人ずつ選んだ昔話の紹介をすること。 <p>2 お家の方の感想を聞く。</p>	<p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4人1グループになり、各々が選んだ昔話を4観点で発表する。 ○ お家の方に、感想を話していただく。 	<p>関—昔話を紹介する会に進んで取り組もうとしている。(観察・ノート)</p>

9 本時の学習(12/15) 1組 指導者 榎 綾子

(1)目標 話の展開に着目しながら読み,自分なりの感想をもって,「中心人物のキャラクター」「好きなところ」を紹介文に書くことができる。

(2)展開

段階	学習内容・学習活動	形態	指導上の留意点	評価 (評価方法)
導入	1 本時の学習の流れとめあてを確認する。	全	○ 学習リーダーが,学習の内容と流れを話すことができるように,事前にポイントを確認しておく。	
5	昔話を読み,「キャラクター」「好きなところ」を書き,わけを話そう。			
展開	2 「中心人物のキャラクター」を選び,交流する。 ○ 「キャラクター像」を選ぶこと。 ○ 「中心人物のキャラクター」「わけ」を交流し合うこと。	個 ペ	○ 活動時間の目やすを示し,見通しをもって活動することができるようにする。 ○ これまでに,キャラクター像を書き込んでいた付箋紙(水色)の中から,自分が一番紹介したい「キャラクター像」を選ばせる。 ○ 「キャラクター像」を,サイドライン(青)を引いていた行動や様子,会話文の叙述や挿絵から想像したことを,「キャラクター」「わけ」を話型に沿って,ペアで交流させる。感じ方の違いを,興味をもって聞き合うことができるようにする。	話の展開に着目しながら読み,自分なりの感想をもって,「中心人物のキャラクター」「好きなところ」を書いている。 (付箋紙・シート 発言・ノート)
33	3 選んだ昔話の「好きなところ」を紹介文に書き,交流する。 ○ 「好きなところ」を選ぶこと。 ○ 「好きなところ」を紹介する文を72字以内で書くこと。 ○ 「好きなところ」「わけ」を交流し合うこと。	個 個 ペ	○ 好きなところに貼っていた付箋紙(ピンク)の中から,自分が一番紹介したい「好きなところ」を決定させる。 ○ 「好きなところ」を,サイドライン(赤)を引いていた叙述や挿絵から,「だれが」「どうした」の事実とそこから想像したことを,感想語彙集を活用して,「~そう」「『 』」と「思っていそう」という形で,紹介文に書かせる。 ○ 「好きなところ」を書くことができない児童には,「好きなところはどこか」「どんなことが思い浮かぶか」をインタビュー形式で聞いたり,まとめる段階の初めに,自分が書いた「好きなところ」を振り返らせたりする。 ○ 「好きなところ」「わけ」を,話型に沿ってペアで交流させ,さらに話のおもしろさに気付かせたい。	
終末 7	4 本時の学習のまとめをする。 5 次時の学習の見通しをもつ。	個	○ 本時の学習を振り返り,自己評価をする。 ○ 次時は,「感じたこと」を紹介文に書くことを知らせ,意欲を喚起する。	

9 本時の学習(14/15) 2組 指導者 太田光子

(1)目標 自分の選んだ昔話を紹介し合い、感想を交流し合うことによって昔話のおもしろさに気付くことができる。

(2)展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点	評価 (評価方法)
導入 5	1 本時の学習の流れと めあてを確認する。	全	○ 自分の選んだ昔話を紹介し、感想を交流し合った後、本を読んで感想を書く学習であることを確認する。	
	紹介された昔話を読んで、「感じたこと」を話そう。			
展 開	2 ペアで紹介文を発表し、わけを話す。 ○ 1対1で、紹介文を発表し合い、わけを説明すること。	ペ	○ 活動時間の目やすを示し、見通しをもって活動できるようにする。 ○ 発表する側と聞く側に分かれ、3観点に沿って発表し合う。「感じたこと」については、最後の交流のために発表を残させておく。 ・「中心人物のキャラクター像」 ・「話の最後」 ・「好きなどころ」 ○ 聞く側は、「中心人物のキャラクター」か「好きなどころ」のどちらか一つのわけを質問することとする。	紹介された昔話の「感じたこと」を、感想をもちながら読んでいます。 (シート・発言)
	3 紹介された昔話を読む。 ○ 紹介された昔話を読むこと。 4 紹介された昔話の「感じたこと」を書き、わけも伝える。 ○ 「感じたこと」を書くこと。 ○ 「感じたこと」を互いに発表し合うこと。	個 個 ペ	○ 「感じたこと」を、感想をもちながら昔話を読むよう促す。 ○ 「感じたこと」をシートに書かせる。 ○ 「感じたこと」を書けない児童には、紹介された本の挿絵を手がかりにあらすじの大体を振り返らせ、「感じたこと」語彙集を参考にさせる。 ○ 感じたことを紹介された人から発表し、紹介した人はわけも加えて発表させる。	
終末 5	5 学習のまとめをする。 ○本時の活動の振り返りをする事。 6 次時の学習の見通しをもつ。	全	○ ペアで昔話を紹介し合った学習の感想を、2～3名に言わせる。 ○ 次時は、家の人の前で発表会をすることを知らせる。	

「チャレンジむかしばなし」 でつかいたいことは

キャラクターをあらわすことば

<input type="radio"/> あかるい	<input type="radio"/> しょうじき
<input type="radio"/> あたたかい	<input type="radio"/> しんせつ
<input type="radio"/> あたまがいい	<input type="radio"/> しんぼうづよい
<input type="radio"/> あわてんぼう	<input type="radio"/> せいぎかんがつよ
<input type="radio"/> いじがわるい	<input type="radio"/> い
<input type="radio"/> いばっている	<input type="radio"/> せわずき
<input type="radio"/> おそろしい	<input type="radio"/> たくましい
<input type="radio"/> おもしろい	<input type="radio"/> ちからづよい
<input type="radio"/> おもいやりがある	<input type="radio"/> なまけもの
<input type="radio"/> がまんづよい	<input type="radio"/> のんびりしている
<input type="radio"/> きつい	<input type="radio"/> はたらきもの
<input type="radio"/> きれいずき	<input type="radio"/> ほがらか
<input type="radio"/> げんきがいい	<input type="radio"/> まじめ
<input type="radio"/> こころのやさしい	<input type="radio"/> やさしい
<input type="radio"/> こわい	<input type="radio"/> ゆうきがある
<input type="radio"/> さみしがりや	<input type="radio"/> ゆかい
<input type="radio"/> じしんまんまん	<input type="radio"/> よくばり
	<input type="radio"/> りこう

すきなところをしょうかいすることば

<input type="radio"/> うれしそう	<input type="radio"/> かなしそう
<input type="radio"/> たのしそう	<input type="radio"/> がっかりしていそう
<input type="radio"/> まんぞくしていそう	<input type="radio"/> さびしそう
<input type="radio"/> うきうきしていそう	<input type="radio"/> さんねんそう
<input type="radio"/> 気分がよさそう	<input type="radio"/> こまっていそう
<input type="radio"/> 気持ちよさそう	<input type="radio"/> おこっていそう
<input type="radio"/> はりきっていそう	<input type="radio"/> 気分がわるそう
<input type="radio"/> よろこんでいそう	<input type="radio"/> くやしそう
<input type="radio"/> おどろいていそう	<input type="radio"/> くるしそう
<input type="radio"/> わらっていそう	<input type="radio"/> くよくよしていそう
<input type="radio"/> あわてていそう	<input type="radio"/> こころぼそそう
<input type="radio"/> じしんがありそう	<input type="radio"/> ぞっとしていそう
<input type="radio"/> ときどきしていそう	<input type="radio"/> おちこんでいそう
<input type="radio"/> ふしぎそう	<input type="radio"/> こわがっていそう

すきなわけをあらわすことば

<input type="radio"/> すてきだから	<input type="radio"/> 気分がよくなるから
<input type="radio"/> かわいいから	<input type="radio"/> げん気がでるから
<input type="radio"/> うきうきした	<input type="radio"/> こころがあたたくなるから
<input type="radio"/> きぶんになるから	<input type="radio"/> すばらしいから
<input type="radio"/> かんどうしたから	<input type="radio"/> ときどきしたから
<input type="radio"/> 気にいったから	<input type="radio"/> どきんとしたから
<input type="radio"/> きらりとひかっているから	<input type="radio"/> ふしぎだとかんじたから
<input type="radio"/> きれいだから	<input type="radio"/> ぼかぼかするから
<input type="radio"/> あかるいから	<input type="radio"/> ほっとするから
<input type="radio"/> えがおになるから	<input type="radio"/> ゆかいだとかんじたから
<input type="radio"/> えらいとおもったから	<input type="radio"/> わくわくするから
<input type="radio"/> たのしくなるから	<input type="radio"/> かなしいから
<input type="radio"/> うれしくなるから	
<input type="radio"/> おもしろいから	

すきなわけをせつめいすることば

<input type="radio"/> あかるい	<input type="radio"/> たのしい
<input type="radio"/> あたたかい	<input type="radio"/> ふしぎな
<input type="radio"/> うきうきした	<input type="radio"/> ほっとした
<input type="radio"/> うっとりした	<input type="radio"/> やさしい
<input type="radio"/> うれしい	<input type="radio"/> ゆうきがわいて
<input type="radio"/> おうえんしたい	<input type="radio"/> くるような
<input type="radio"/> かなしい	<input type="radio"/> ゆかいな
<input type="radio"/> さびしい	<input type="radio"/> がっかりした
<input type="radio"/> さわやかな	<input type="radio"/> くらい
<input type="radio"/> すかっとした	<input type="radio"/> こころぼそい
	<input type="radio"/> さんねんな